

武蔵野市下水道施設長期包括業務委託事業者選定委員会 議事要旨

- 1 内容 委嘱式及び第1回
- 2 開催日時 令和5年7月9日(日)午前9時30分から午前12時00分まで
- 3 開催場所 武蔵野商工会議所 5階第1会議室・第2会議室
- 4 出席委員 長岡裕委員、佐藤克己委員、佐藤研三委員
樋爪泰平委員(財務部長)、大塚省人委員(環境部長)

5 議事要旨

(1) 委嘱式

- ア 委嘱状交付
- イ 市長挨拶
- ウ 委員自己紹介

委嘱式後、市長退席

(2) 第1回委員会

ア 委員長選出

- ・委員の互選により、長岡委員を委員長に選任。
- ・委員長の指名により、佐藤克己委員を委員長代理に選任。

イ 委員会の運営等について

- ・会議については、公正な入札手続を行うために非公開とすることを確認。
- ・議事録や資料については、優先交渉権者と契約を締結するまでは非公開とし、契約締結後に公開とすることを確認。公開時の委員名の表記については、自由闊達な議論ができるように、匿名としたうえで、市のホームページに公開する。公開する議事録については、各委員の意見を要約することを基本とするが、各回での審議内容をどの範囲まで公開するか事務局で再度整理して提案する。

ウ 委員会での審議内容及び進め方について

事務局より資料1「武蔵野市下水道施設長期包括業務委託事業者選定委員会設置条例」、
資料2「委員会での審議内容及び進め方について」を説明

エ 長期包括業務委託の概要について

事務局より資料3「武蔵野市下水道施設長期包括業務委託における優先交渉権者選定について」(～P31)を説明

災害対応について

- ・今回の包括の災害対応の範囲を整理し明確にする。

本格導入について

- ・本格導入に向けてPDCAを回しながらモニタリングしていくべきである。

スケジュールについて

- ・企画提案書の質問回答公表から企画提案書の受付締切までの期間が短く、事業者側の負担となる可能性があるため、可能な範囲で見直しをする。

出資比率について

- ・出資をしない構成員は想定していないことがわかるよう記載方法を検討する。

オ 優先交渉権者選定のための基準（案）について

事務局より資料3「武蔵野市下水道施設長期包括業務委託における優先交渉権者選定について」(P32～)について説明

配点割合について

- ・今回の包括は、改築工事、維持管理等も含むフルパッケージの業務委託であり、技術的な提案要素も十分にあることから、配点割合を8：2（技術：価格）とする。

評価の着眼点と配点について

- ・業務内容、市が期待すること等を鑑み再度配点割合を見直す。

最低基準点について

- ・最低基準点は技術評価点に対して設定する方法がよいのではないか。
- ・次回の委員会で再度審議する。

技術評価点の算出方法について

- ・A～Dの4段階で評価する案を採用するが、各評価基準の表現を見直す。
- ・Dは要求水準を最低限満たすような表現とする。

価格評価点の算出方法について

- ・基礎点を設けない案がよいと思うが、満点をどこに設定するかは議論が必要である。
- ・相対評価にする方法もある。
- ・最低基準点をどこに設定するかも含め、再度事務局で整理し、次回の委員会で再度審議する。

カ その他（事務連絡等）

- ・今後の委員会予定について確認